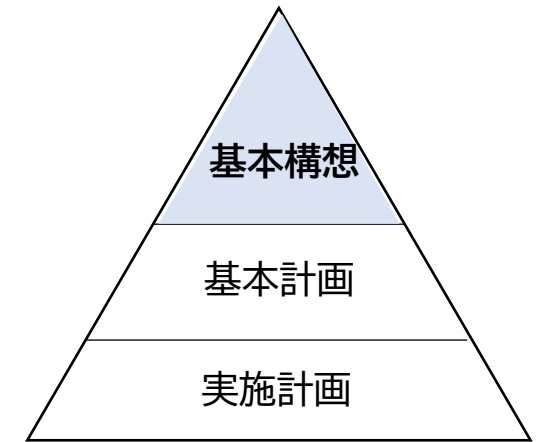


第7次松山市総合計画 基本構想（素案）の概要

（１）総合計画とは

- ・ 市政の最上位に位置付けられる、まちづくりの根幹となる計画で、松山市総合計画策定条例に基づき策定しています。
 - ・ 将来都市像やまちづくりの方向性を示す「基本構想（10年）」、基本構想実現のための取組や数値目標などを示す「基本計画（5年）」、具体的な事業を示す「実施計画（3年）」の三層構造になっています。
- ※基本構想を策定・変更するときは、松山市総合計画審議会への諮問と議会の議決が必要です。



（２）経緯・計画期間

- ・ 現行の第6次松山市総合計画の計画期間が令和6年度末までであるため、次期総合計画を策定します。
- ・ なお、これまで人口減少対策の基本計画として、別々に策定していた「松山市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を第7次松山市総合計画と統合し、一体的に推進していきます。

【計画期間】 令和7年度～令和16年度

年度	令和7 (2025)	令和11 (2029)	令和12 (2030)	令和16 (2034)
基本構想	基本構想（10年）			
基本計画	前期基本計画（5年）		後期基本計画（5年）	

（３）策定方針

- ①未来の松山に「夢が広がる計画」
- ②市民の視点に立った「分かりやすい計画」
- ③市民が関わり、行動したくなる「みんなでめざす計画」
- ④困難や変化にも対応できる「しなやかな計画」
- ⑤メインターゲットが「松山を選びたくなる計画」

(4) 基本構想(素案)の概要

まちづくりの理念

一人ひとりの幸せが、実現するまちへ
～笑顔を大切に、「つながる力」で挑戦～

将来都市像

人、まち、仕事がつながる SETOUCHI の交流拠点まつやま

まちづくりの方向性

①「人」がつながる

こどもから大人に成長し、年齢を重ねていく段階をはじめ、年齢や性別、国籍、障がいの有無などにかかわらず、あらゆる「人」がつながっています。



②「まち」がつながる

持続可能で安全・安心な快適に暮らせる都市環境が次世代につながっています。
また、市の内外の「まち」とつながり、地域資源や文化・スポーツなどのコミュニティが新たな賑わいを生み、魅力が高まっています。



③「仕事」がつながる

誰もが働きがいを持ちながら、安心して仕事ができる松山に人やモノが集まっています。また、職業や働き方にかかわらず、「仕事」がつながることで、相乗効果が生まれ、地域経済の好循環が続いています。



進行管理

PDCAサイクルで進行管理をする上で、変化の激しい時代に対応するため、外部評価のほか、外部環境の変化も踏まえて、具体的な取組や数値目標を柔軟に変更できるようにします。